

GT 壓着タイプコネクタ

～結線作業要領～

1. ストリップ作業

3-1. キャブタイヤケーブルシースのストリップ

下表の寸法を参考にシースをストリップしてください。<但し、ケーブル被覆をシールするタイプによる(CFタイプ)>

<推奨値>

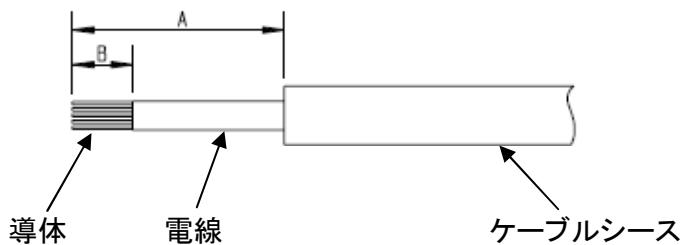
シェルサイズ	10SL	14S	16S	16	18	20	22	24	28	32	36	40
A (mm)	14	19	19	17	18	18	19	18	24	26	27	41

3-2. バラ線(電線)のストリップ

下表の寸法を参考に各電線をストリップしてください。

<推奨値>

コンタクトサイズ	16S	16L	12	8	4	0
B (mm)	7.5	7.5	7.5	14	14	19



2. 壓着

下表の工具データを参考し、3-1. からの手順に従って圧着作業を行ってください。

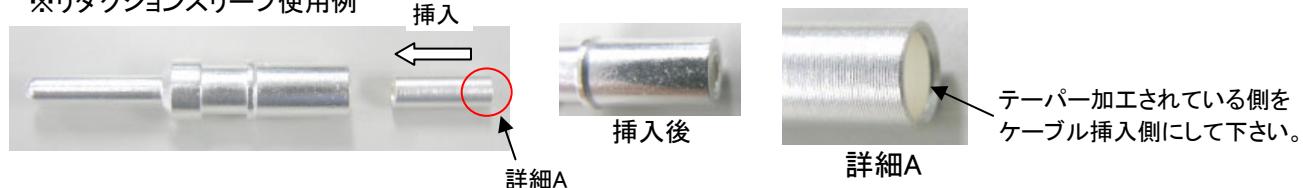
コンタクト品番	サイズ	適合電線(AWG)	圧着工具	ポジショナー/ダイ及びロケーター	挿入工具	引抜工具	
10-40552 又は 10-597109-161	16 ショート ソケット	20, 18, 16	M22520/1-01	TH29 又は TH29-1	DAK168-16	DRK59 ※1	
10-40553	16 ショート ピン	20, 18, 16					
10-40556 又は 10-597109-171	16 ロング ソケット	20, 18, 16					
10-40557	16 ロング ピン	20, 18, 16					
10-40560 又は 10-597109-131	12 ソケット	14, 12					
10-40561	12 ピン	14, 12			DAK168-12		
10-40792	8 ピン	8					
10-40793	8 ソケット	8	Pico 400BHD	414DA-8N 及び 4025	DAK282		
10-40564	4 ピン	4		414DA-8N 及び 4026			
10-40565	4 ソケット	4		414DA-4N 及び 4043	—	—	
10-40562	0 ピン	0		414DA-0N 及び 4042			
10-40563	0 ソケット	0					

※1: コンタクトサイズ16,12,8兼用

コンタクトに使用する電線が適合外の場合は、下表のリダクションスリーブをご使用下さい。
 また、グロメットを使用するコネクタの場合、ケーブルをシールするため下表のケーブルをご使用下さい。
 (下表のケーブル仕上り外径を満足しないケーブルをご使用されると、シール性低下の原因となります。)

コンタクトサイズ	適合電線(AWG)	リダクションスリーブ品番(米国産)	リダクションスリーブ品番(国内産)	グロメット使用時のケーブル仕上り外径(mm)
16 ショート	16	—	—	$\phi 1.6 \sim \phi 3.3$
	18	—	—	
	20	—	—	
	22	10-74696-6	10-900711-16/22S	
16 ロング	16	—	—	$\phi 1.6 \sim \phi 3.3$
	18	—	—	
	20	—	—	
	22	10-74696-6	10-900711-16/22S	
12	12	—	—	$\phi 2.9 \sim \phi 4.3$
	14	—	—	
8	8	—	—	$\phi 4.2 \sim \phi 6.5$
	10	10-74696-1	10-900711-8/10S	
4	4	—	—	$\phi 6.9 \sim \phi 9.3$
	6	10-74696-2	10-900711-4/6S	
	8	10-74696-11	10-900711-4/8S	
0	0	—	—	$\phi 10.5 \sim \phi 14.0$
	2	10-74696-7	10-900711-0/2S	
	4	10-74696-8	10-900711-0/4S	

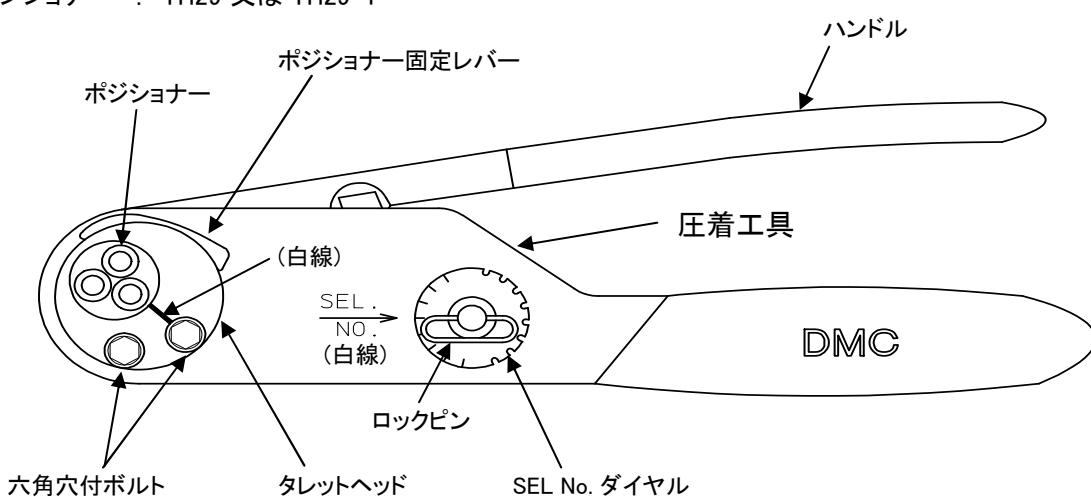
※リダクションスリーブ使用例



2-1. 圧着工具の用意(M22520/1-01の場合)

圧着工具 : M22520/1-01

ポジショナー : TH29 又は TH29-1



2-2. タレットヘッドのセット

タレットヘッドのセット及び交換は、下記の手順に従って行ってください。

- ① タレットヘッド(TH29/TH29-1)を圧着工具(M22520/1-01)に取付け、六角穴付ボルトを締め付けてください。
- ② タレットヘッドの側面に付いているポジショナー固定レバーを押し解除していることを確認し、圧着するコンタクト番号と白線が会うよう回転させます。
- ③ ポジショナーをタレットヘッドと平面になるまで押し込みます。
- ④ ロックピンを取り外し、SEL No. ダイヤルを引き上げ、電線のサイズに合わせて白線の位置にセットします。

2-3. 壓着作業

① 壓着工具のハンドル解放

ハンドルを最後まで締め付けてから、そのままハンドルを離すとハンドルは自動的に解放状態になります。

② 電線の挿入

ストリップされた電線を、コンタクトのワイヤーウェルの確認穴から見えるまで十分に挿入してください。

③ コンタクトの挿入

圧着工具の圧着部孔に挿入してください。

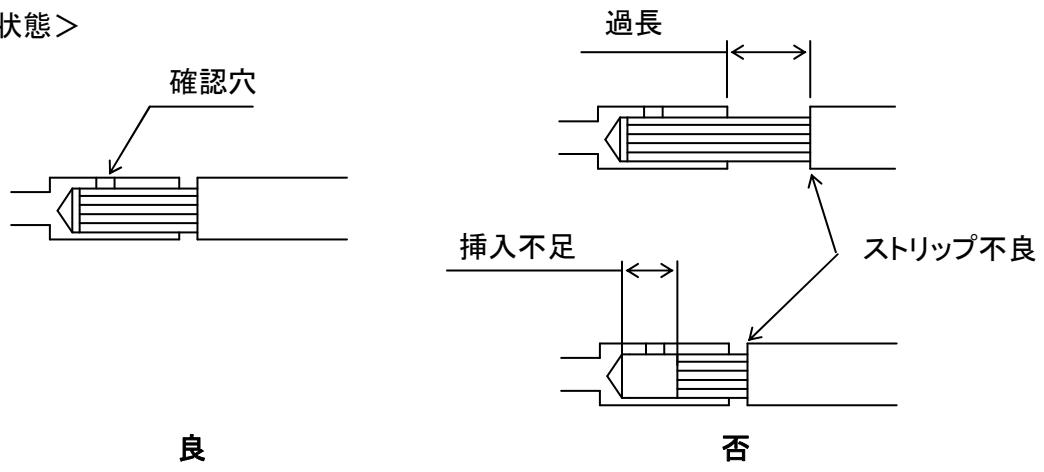
④ 壓着

電線がコンタクトから抜け出さないように軽く押しながら、ハンドルを徐々に握り締めラチエットが外れるまで締め付けてください。この状態で圧着が完了します。但し、ラチエットが外れない状態で無理にハンドルを開けないでください。

⑤ コンタクトの取り出し

圧着されたコンタクトは、ケーブルを軽く引張り取り出します。

〈圧着状態〉



2-4. 壓着工具の用意(Pico 400BHDの場合)

圧着工具 : 400 BHD

ポジショナー : 3項の工具データ参照

ロケーター : 3項の工具データ参照

2-5. 壓着作業

① 本体にコンタクトサイズに応じたダイ及びロケータをセットします。

② ハンドルの後部にあるエアー供給口にホースを接続し、70~125PSIの空気圧により本体が作動します。

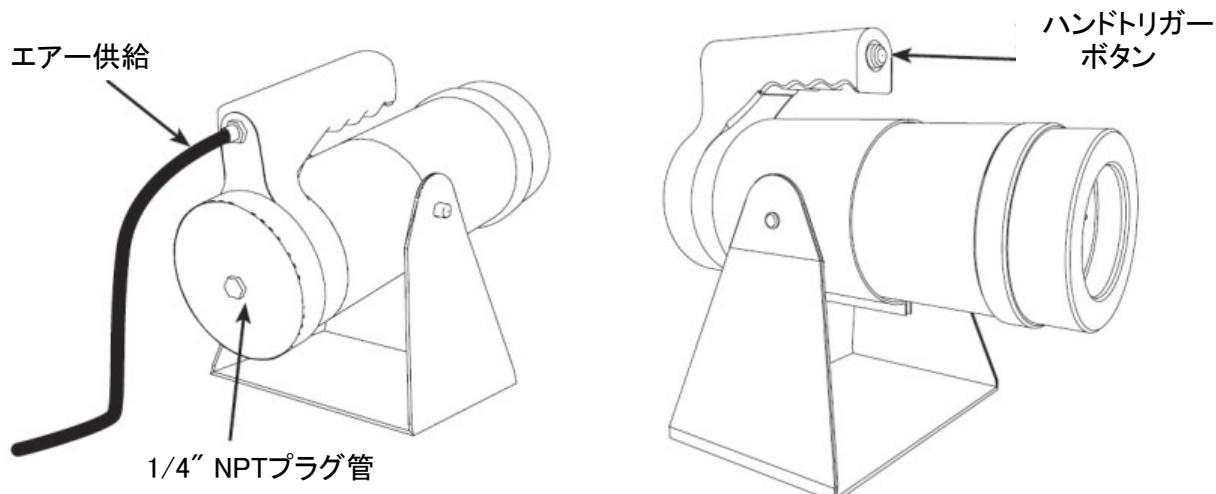
圧着推奨空気圧: 0.7Mpa (7.0kgf/cm²)

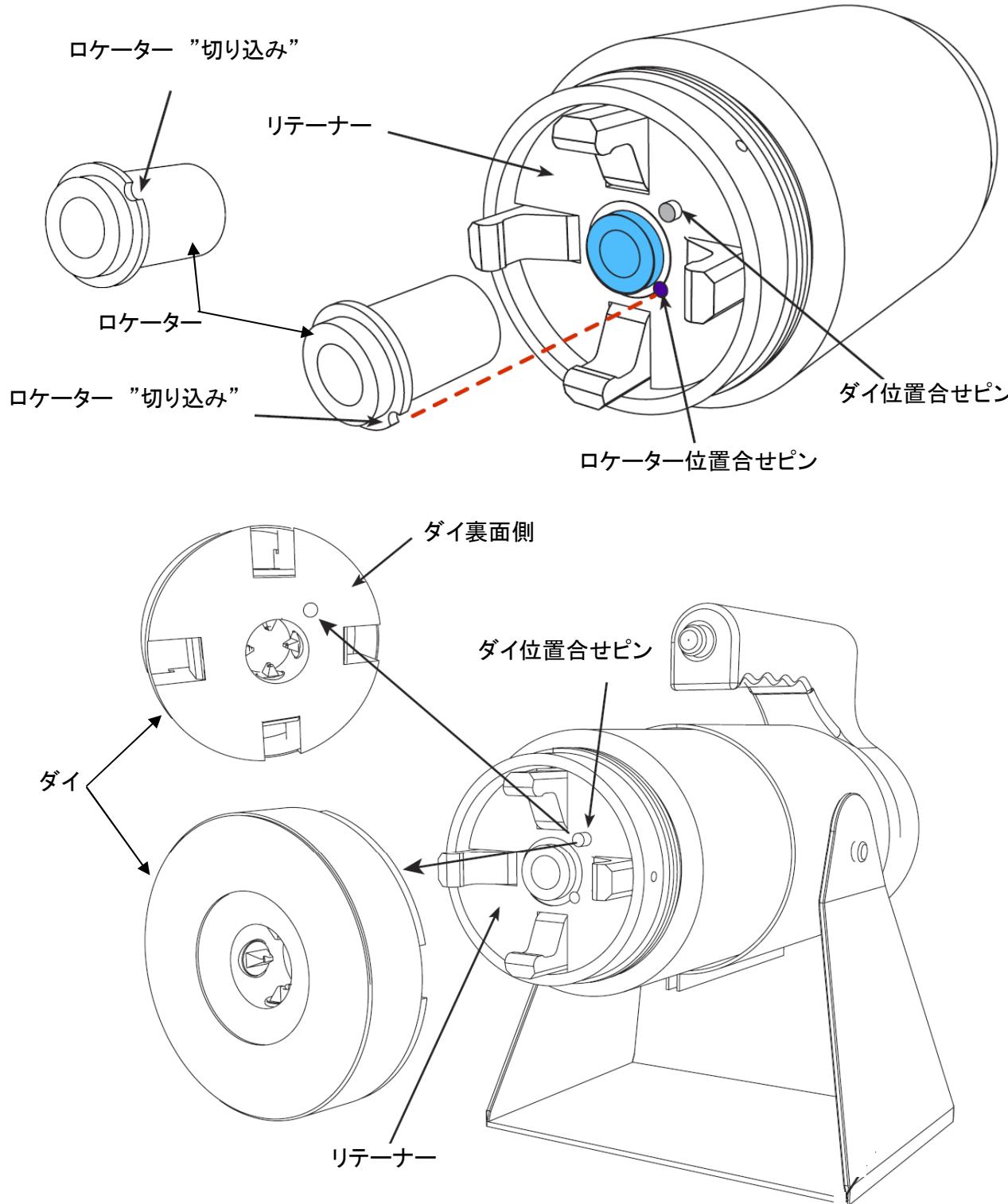
③ ハンドトリガーボタンを押し、圧着部の動作確認を行います。

④ ストリップされた電線を、コンタクトのワイヤーウェルの確認穴から見えるまで十分に挿入してください。

⑤ コンタクトをロケータに突き当たる状態を保持し、ハンドトリガーボタンを約2秒~3秒間押し圧着させます。

⑥ 圧着されたコンタクトは、ケーブルを軽く引張り取り出します。



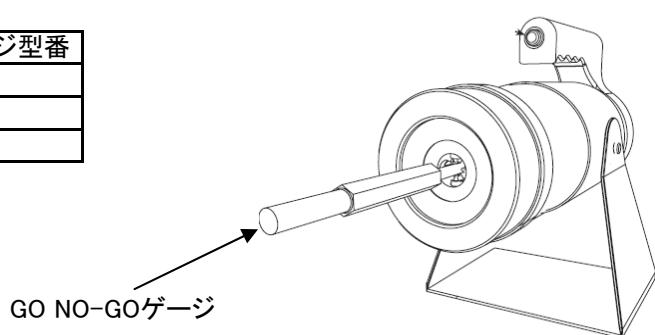


2-6. 圧着工具(Pico 400BHD)の点検方法

- ①下表のGO NO-GOゲージを使用してください。
- ②ハンドトリガーボタンを押し、本体を起動させた状態でGO NO-GOゲージを挿入します。
※GO: ゲージがコンタクト挿入口に通る。 NO-GO: ゲージがコンタクト挿入口に通らない。

コンタクトサイズ	※GO NO-GOゲージ型番
8	450GA-8N
4	450GA-4N
0	450GA-0N

※Pico製

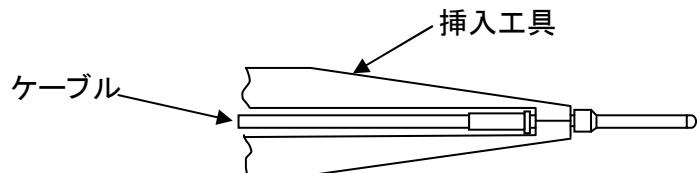


3. コンタクトの挿入

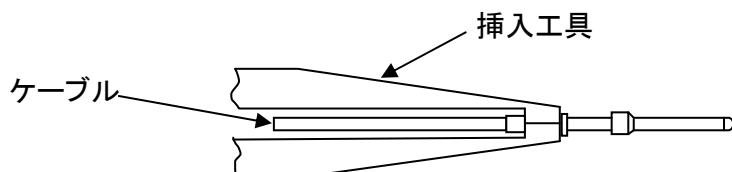
コンタクト挿入時に、エチルアルコールを潤滑剤として使用しても構いません。

① #16コンタクト

- 挿入工具は、ダニエル製DAK168-16を使用してください。
- コンタクトの嵌合部に近い肩の部分に挿入工具でつかみ、インサートに工具が当たるくらいまで挿入します。



- 工具先端の位置をコンタクトのワイヤー側の肩に移し、コンタクトを規定位置まで挿入します。



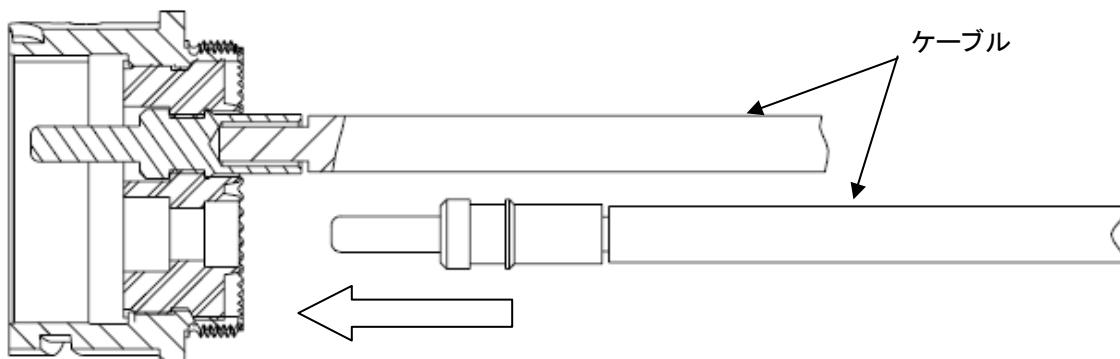
② #12コンタクト

- 挿入工具は、ダニエル製DAK168-12を使用してください。
- コンタクトのワイヤー側の肩を挿入工具でつかみ、コンタクトを規定位置まで挿入します。

③ #4, #0コンタクト

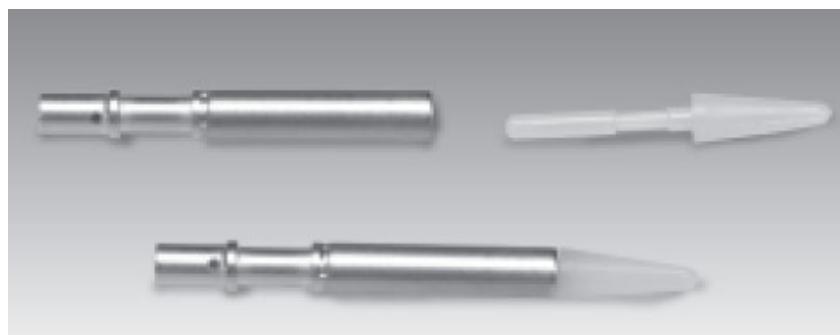
a) 挿入方法1

ケーブルを適した治工具又は手で持ち下図の方向からコンタクトを挿入します。

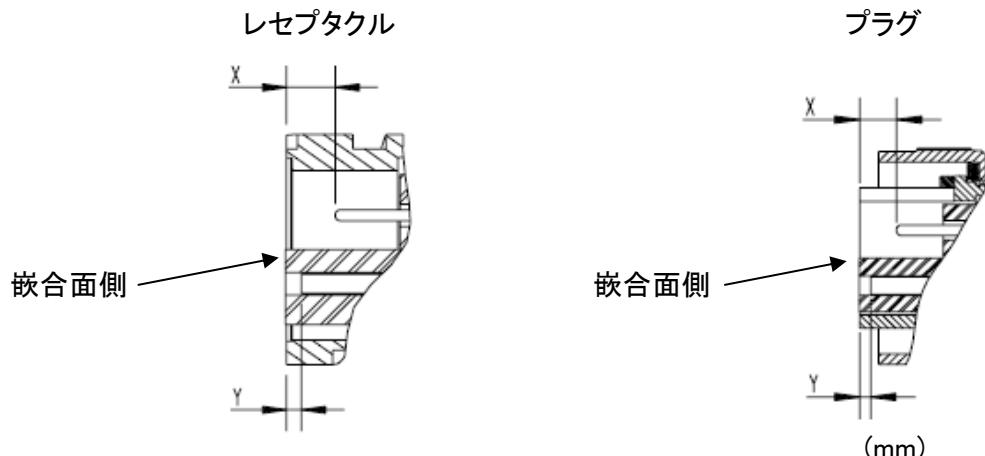


※ ソケットコンタクトの挿入が困難の場合、下記のパイロットピンを使用することにより、挿入難が解消されます。
(4, 0サイズのパイロットピンについては弊社までお問い合わせ下さい)

コンタクト サイズ	パイロットピン品番
16	10-242758-016
12	10-242758-012
8	10-242758-008



<コンタクト規定位置>



コンタクトサイズ	X寸法 (ピンコンタクト)	Y寸法 (ソケットコンタクト)
16S	1.2~3.2	1.0~3.0
16L	5.6~7.9	1.6~3.6
12	1.6~4.0	1.6~3.6
8	1.3~3.3	1.6~3.6
4	1.3~3.3	1.6~3.6
0	1.3~3.3	1.6~3.6

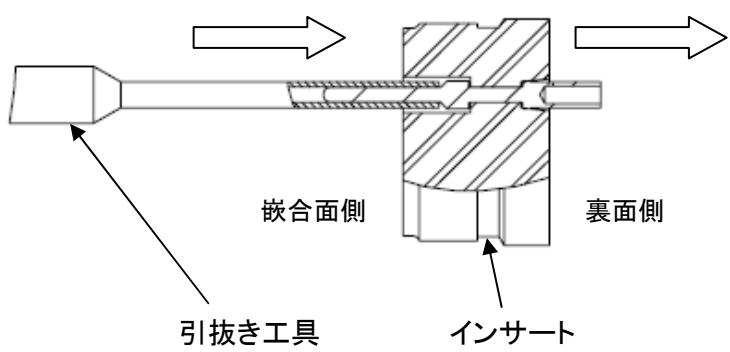
4. コンタクトの引抜き

万一、誤配線や誤挿入等があった場合は、下記のとおりコンタクトを引抜き再挿入してください。尚、コンタクトの保持力を保つために必要時以外は引抜きは行わないでください。

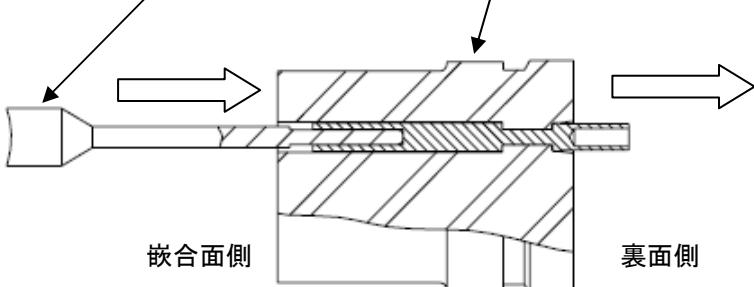
- ① 付属品を取り外しケーブル後部へずらしてください。
- ② コンタクトの引抜き

コンタクトの引抜きは、指定の引抜き工具(DRK59)を使用し、付属の各サイズに合ったツールを取付け、インサートの嵌合部より、ピンコンタクトの場合はコンタクトを覆うように被せて、ソケットコンタクトの場合はコンタクトに挿入した状態で押し込みコネクタの裏面へコンタクトを引抜きます。その時、コンタクトを曲げないよう注意してください。

<ピンコンタクトの場合>



<ソケットコンタクトの場合>



改 訂 記 錄

改訂番号	改訂年月日	改訂内容	担当
A	2010.12.21	P-2/7において、リダクションスリーブ番号(国内産)追加。 P-2/7において、リダクションスリーブ使用例追加。	中村